



旭川市立緑が丘小学校 学校通信

緑小だより

令和2年12月25日（金）発行

学校教育目標

考える子ども
豊かな子ども
強い子ども

忍びぬいた 人たちは 幸である

校長 石 塚 睦

窓外はすっかり雪景色となりました。残暑厳しい8月にスタートした2学期も、本日終業式を迎えることができました。あらゆる教育活動を「コロナ感染対策」を基盤としなければならず、たくさんの困難や制約を乗り越えての毎日でありました。しかしながら、日々着実に学習の遅れを取り戻し、また、1学期から延期していた運動会や6年生の修学旅行、5年生の宿泊学習などを実施することができました。これも偏に、緑小っ子たちの一途な頑張りとそれを支え、絶えず励ましてくださったご家族・地域の皆様のお力添えによるものと心から感謝しております。

さて、写真の額縁は、作家 三浦綾子さんの直筆の色紙で校長室に飾られています。いつもは何気なく見ていたのですが、コロナ禍にあって、深い意味があるように感じ、壁から下ろしてみました。三浦綾子さんの人柄をあらわすような柔らかく、飾らない筆跡で書かれたこの色紙は、昭和54年2月に開校5周年記念として 木山 昇 さん（当時3年生の保護者）から寄贈されたものでした。気負いがなく、優しさを感じさせる筆跡とは裏腹に、力強く、敢然としていて、確かな希望を感じさせるこの言葉が心に深く染みるのを感じます。また、三浦綾子さんは「苦難の中でこそ、人は豊かになれる」との言葉も残しています。

この1年は、世界中がコロナ禍を堪え忍んできましたが、同時に「希望」「幸せ」「豊かさ」について、あらためて考える機会でもありました。「忍びぬいた 人たちは 幸である」…三浦綾子さんのこの言葉は、コロナ禍にある私たちへの力強い激励のメッセージなのではないでしょうか。

ここ旭川では、医療機関でコロナ感染が頻発し、医療関係者の方が、大変なリスクを背負い、壮絶な苦勞をして地域医療を守ってくれています。本校の保護者にも医療や介護関係に従事されている方がたくさんいらっしゃいます。しかし、そんな方々やご家族に対して、不当な扱いや差別、偏見などがあると聞き、いたたまれない思いがします。三浦綾子さんは、こんな言葉も残してくれています。「なぜ私たちは不満を後まわしにし、感謝すべきことを先に言わないのだろう。」

今、旭川市内の子どもたちは、そんな基幹医療施設で頑張っている方々に感謝と応援のメッセージを届ける活動を始めました。緑小っ子たちも旭川医科大学病院の皆さんへ届ける予定です。

がんばり縄跳び

11月20日(金)から「がんばり縄跳び」が始まりました。朝の時間を使って、各学年ごとに体育館で行っています。自己目標の達成を目指し、一生懸命に練習を行っています。来年の2月4日には、学級代表が体育館に集まりチャンピオン大会を行います。学級の代表を目指しながら楽しく活動を行っています。



租税教室 12月10日(木)

旭川東税務署から講師の方を招き、6年生が租税教室を行いました。消費税や所得税など税についての理解を深めながら、税金が身近な日常生活の中で使用されていることを知るとともに、税金の意味と大切さを学びました。



乗り入れ授業(英語)

緑が丘中学校の伊藤教諭が、5年生と6年生に英語の授業を行いました。伊藤先生の流れるような英語とユーモラスな授業内容に、思わず子どもたちも引き込まれ、楽しく集中して学習を行いました。中学校での英語の学習への興味と期待が高まる良い機会となりました。



1月の学校行事

1	金	元旦 学校閉庁日
2	土	学校閉庁日
3	日	学校閉庁日
11	月	成人の日
13	水	3学期始業式(6年)
15	金	3学期始業式(1～5年) さわやかあいさつ DAY
18	月	冬休み作品展(1/29迄)
19	火	身体測定(4・5・6年)
20	水	身体測定(1・2・3年)
21	木	スキー学習(6年)
25	月	諸費振替日
26	火	スキー学習(5年)
27	水	読み聞かせ

「総合的な学習」外部講師授業



11月18日(水)に3年生が緑が丘商店街から斉藤さんを講師として招き緑が丘地区の歴史や文化について学びました。

真剣な表情で一生懸命にメモを取る姿勢がとても素晴らしかったです。



TOPICS (出来事・話題)

○12月9日(水)・11日(金)に1年生が、あさがおのつるを使ったリースの装飾づくりを行いました。クリスマスに向けてかわいらしい作品ができあがりました。

○12月16日(水)は、お弁当の日でした。中休みから「早くお昼にならないかな」と、お弁当を早く食べたくてそわそわしている子が多く見られました。

○12月21日(月)は、全学年で学力検査を行いました。普段とは少し違う問題に悩みながらも、最後まで諦めずに全集中で検査に臨んでいました。

○中休みや昼休みに、校庭で雪まみれになって元気に「雪合戦」や「鬼ごっこ」を行う姿に頼もしさを感じます。寒さに負けず心も体もたくましく成長しています。